

研究公開用文書

<p>研究名：</p> <p>肺癌に対する化学療法の効果・生命予後を予測するタンパク質の検索</p>
<p>研究の概要：</p> <p>肺癌は日本及び世界における死亡数が最多の悪性疾患である。現在肺癌の治療薬の効果のバイオマーカーとしては、TKI に対する EGFR mutation および ALK-I に対する ALK 転座がある。しかし、殺細胞性の抗癌剤の効果予測に十分な有用なバイオマーカーは存在しない。もし、このようなバイオマーカーがあれば、臨床上有用であると考えられている。</p> <p>病院に保存されている病理検体を解析し、肺癌細胞中のたんぱく質が治療経過とどのように関係するかを解析する。</p> <p>今研究は既に採取されている検体及び、電子カルテ上データの後方視的取得による。患者さんを対象とした新たな検体採取や患者さんに対する新たな医療行為は一切行わない。また、公表するデータは個々の患者さんの経過（症例報告）ではなく統計解析後の数値等であり、公表データから個々の患者さんの治療内容や治療経過が推察されることはない。</p>
<p>研究対象：</p> <p>下記を満たす患者さんを対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 年齢が 20 歳以上の男性と女性 (2) 病理学的に小細胞癌または非小細胞肺癌と診断された患者さん (3) 根治不能で抗癌剤治療を行った患者さんおよび術後再発により根治不能な状態となり抗癌剤治療を行った患者さん。後方視的観察対象となる治療は国内で承認されガイドラインで推奨される一般的な抗癌剤治療（プラチナベースの治療等）である
<p>研究責任者：</p> <p>（附属病院）</p> <p>所属：大学院医学研究科呼吸器病学 氏名：原悠</p>
<p>研究実施期間：</p> <p>平成 27 年 12 月 1 日 ～ 平成 32 年 11 月 1 日</p>
<p>連絡先：</p> <p>横浜市立大学（附属病院）</p> <p>所属：大学院医学研究科呼吸器病学 氏名：原悠</p> <p>〒：236-0064 住所：神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9</p>

電話：045-352-7962